
PHOTOGRAPHIC MAGAZINE
Skinship Magazine for Boys
DELUXEマガジン ORE
オーレ
南野陽子
I love you
陽子をひとりじめ……
SIDE.1 鮮烈水着
ほかでは絶対に見られない陽子の水着
SIDE.2 YOKO GRAFFITI
グアム・沖縄ほか、陽子のストーリーフォト
SIDE.3 YOKO WORLD
ここでしか読めない陽子の秘密の世界すべて
SIDE.4 YOKO MEMORY
マガジン・デビュー以来の思い出アルバム
SIDE.5 恋写館
かわいい陽子に食べられたーい！
SIDE.6 YOKO JOURNEY
愛らしい陽子、おちゃめな陽子をいっぱいあげる
撮影／恋写ボーイ野村誠一

PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE
Yoko Minamino



太陽に照らされた陽子のハートは、
気球になって空に舞いあがりました。



「ヨウコ」って呼んでくれたら、
「はい」っていって、飛びつきたいナ……。
抱きとめてくれる？

PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE

Yoko Minamino





Photo by SEIICHI NOMURA

カバーストーリー

〝こんないいコ見つけた〟シリーズで、デラマガNo.13の巻頭36ページ衝撃デビュー以来、約1年。陽子はあちこちで大旋風を巻き起こし、ビッグ街道まっしぐらです。

そんな陽子をひとりじめの「PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE·南野陽子」。デビュー以来いつも陽子を見守ってきたマガジンだからできた大ロケーション。ここでしか見られない陽子のセクシーフォト、ほかでは読めない陽子のすべてを、存分にお楽しみください。













Skinship Magazine for Boys
DELUXE マガジン

南野陽子 PHOTOGRAPHIC・MAGAZINE　編集人――五十嵐隆夫　発行人――内田勝　デザイン――PENCIL STUDIO　発行所――株式会社講談社　〒112東京都文京区音羽2-12-21
電話　東京03-945-1111(大代表)　印刷所――大日本印刷株式会社　製本所――株式会社国宝社　PRINTED IN JAPAN ISBN4-06-101625-3 (0) (マ) 定価1,300円
昭和61年4月15日第1刷発行　昭和62年7月1日第16刷発行　禁・無断転載　落丁本、乱丁本は、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします。


DAVY JONES

SIDE.1
●鮮烈水着

陽子をひとりじめ…

Yoko Minamino

イキイキ陽子は、いつもしぼりたてフルーツみたいに新鮮だね。





熱〜いときめきを……。
ひとりぼっちにしない
でください。二人が熱
くなるから、ときめきと
いえるのです。


DAVY JONES


JONES





心のこもらないセリフはイヤ。ありのままの私でいたいから。あなたも飾りのないまま、ただ「スキ」といって！











私を見つめて、そのまんまなんて、そんな臆病なあなたはイヤです。



私をさらって逃げてくれるヒト、早く、あらわれてくださいナッ！










朝もやの枯れ葉に願い
をかけたのは、あなたに
逢いたいから…なの。
DAVY JONES









陽子は魔法使いになりたい……。あなたの思っていることを、何でもわかるように！

純だね、陽子。



SIDE.2 Graffiti



Yoko Minamino

GUAM





Yoko Minamino

陽子が初めて編集部に訪ねてきた時の印象は、いくぶん緊張ぎみではあったが、まさに〝ういういしくて、ちょっと目をそらしたくなるようなかわいらしさ〟を持っていた。会ったその瞬間にマガジンの「こんないいコみつけた」シリーズに載せようと決めていた。それほどに陽子はすがすがしかった。デラマガ NO・13の巻頭の撮影のためにグアムに行ったけれども、陽子はたんにお嬢さんのかわいらしさだけの女のコではなかった。炎天下の苛酷な撮影にグチひとついうのでもなくガンバッテいた。それこそ死ぬほどに恥ずかしいビキニもデラマガの読者のためにガマンしてくれた。我らが陽子に乾杯と感謝を！





可憐だね、陽子。

グアムの撮影から帰ってきてすぐに、都内ロケに行った。陽子のイメージはなんといっても、キレイなお嬢さん。例えば陽子のような女のコに初恋をした少年が、さりげなくすれちがうのだけれども、胸さわぎが治まらない。そんな陽子の良さを生かそうということになって、田園調布、多摩川のグラウンドでの撮影となった。グアムの暑さから一転、寒くてしかたがなかった。ブレザーを着た陽子の素直でときめくような笑顔は「少年マガジン」と「DELUXEマガジン」共通の表紙となり、大評判を呼んだのだった。このページの陽子がその時のもの。いま見てもすごくいいカンジだネ。

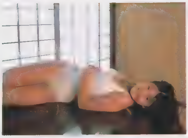
気分はセンチメンタル・・

この撮影は、鬼怒川の奥、ロードもどんづまりの、昔、平家の落人が逃れて、逃れて、人里離れたこの地に息をひそめて、生活したといわれる湯西川で行った。夕食には雀や山椒魚の串焼き、鹿の刺身が食膳に供され、初めて見る陽子は驚いたり、泣きそうになったり大変だった。それでも食後のショータイムには、かがり火の明かりだけがともされた野趣あふれる建物の中で、おじいさんやおばあさんの浴衣姿に交じって、なんと「こんにゃくの歌」というなんともヘンテコな歌にあわせて、陽子は、手ふり足ふり踊っていたのだった。清楚(せいそ)な陽子のイメージからは想像できない、おもしろいコだなあと思ったのだった。









Graffiti











悩ましいね、陽子。

由貴に続いて、「スケバン刑事」の主演が決まったのが、ちょうどこのころだ。フジカラーのＣＦで、茶の間の話題も集めはじめた陽子。そんな陽子を優しく迎えてくれたのが、湖畔のきれいなプチ・ホテル。東京からそれほど遠くないところに、こんなにロマンチックなところがあったなんてと、キャッキャッ騒いでいた陽子だった。小ぎれいなレストランや、ちょっとリッチなスイート・ルームでの撮影。自信がついてきたせいか、オドオドしたところが消えて、表情もバチッと決まってきた。かわいさ満点の陽子スマイルの中にも、時々ドキリとするような女っぽい表情を見せる。陽子フィーバーを予感させた。


YAMANAKAKO


Yoko Minamino
NARA
熱い時間を、
ありがとう。





長時間ナマ録インタビュー

南野陽子



SIDE.3 YOKO WORLD



京都から東京へと突っ走る新幹線の中で、次から次へと飛びだした陽子のホンネ。18歳、ただいま女のコまっ盛りのナマの陽子を、めいっぱい感じとってほしい！



京都駅——午後7：00発ひかり274号。

新幹線ホームで駅弁とお茶を買って南野陽子といっしょにグリーン車に乗り込む。いまや超売れっコ・人気沸騰の陽子。TV、歌、CFにと忙しすぎて、ゆっくりとインタビューの時間がとれない。収録帰りの陽子といっしょに、誰にも邪魔されない新幹線の中、グリーン車にゆっくりと座り、じっくりと話を聞いてみようとあいなったわけ。

さっそく幕の内弁当を開き、箸をつける。

●陽子ちゃんは、あれだね、すごくおいしそうに、お弁当を食べるね。

「うん」

●見ていて楽しいものね、そんなにおいしそうに、お弁当を食べるとね。

「私、お米が好きなの」

●健康そうに食べるね。(と、おいしそうに箸を運ぶ陽子にしつこく聞くデラマガの記者)

「……………(陽子は沈黙)」

●食べるのが元気の素だね。(と、またしても、しつこく聞く記者)

気持ちよく食べているのだから、ほっておいてくれればいいのに、うるさいわねとは、胸のうちでは思ったとしても、心優しい陽子ちゃんは少しもそんな態度を見せず、

「私、(忙しくて)寝る時がないのなら、その分、食べないといけないと思って……。ほんとはダイエットしなくてはいけないと思うんだけれど、やせて青いやつれた顔を見せているよりも、元気に食べて、真っ赤な顔をしていたほうがいいんではないか……と自分に言い訳して食べているのです。このごろ3キロも太ってドラマの衣装が入らなくなってしまったのですよ。ウフフ。でも、食べるの大好き！」

●小さいころから、そんなに元気だったの？

「ううん、幼稚園のころは体が弱くて、砂場で遊んでいれば、砂に手とか足がカブレるし、外で遊んでいると肩を脱臼させるし、すごく弱いコだったんですよ。公園などで遊ばなくって、おうちにこもって本を読んでいましたよ。風邪もひきやすいコで、小学生のころなど、1年のうち30日も、学校を休む女のコでした。でも、神戸から東京にでてきたら、がんばらなくちゃと、すごく元気になっちゃった」

●いまは風邪で熱がでても、ガンバルって話を聞いたけど……。



「そうですね、この前も熱があったんですけれど、TVドラマの撮影が、ずっと徹夜みたいに続き、熱がでちゃったんですけれどもね、ここで倒れてはいけないと、なおさら元気にしようと、ひとり元気に動き回っていましたね。あとはよく食べて、みんな元気、元気って一生懸命にいって、撮影をしていたんですよ」

いまどきの女のコにしては、珍しいくらいに健気な女のコだね。だからファンのみんなを夢中にしてしまうんだろうね。

●DELUXEマガジンのNo.13の巻頭カラーで本格的にデビューしたんだけど、今から考えると夢みたいだね。こんなに忙しくなって、こんなに騒がれるようになるなんてね。

「ホント、よかった。神戸から東京に来るとき、友達なんか「やめときなさいよ、本気にして行くなんて」とか、失敗して帰ってきたら、近所の人たちに恥ずかしいっていっていた弟



YOKO WORLD
長時間ナマ録インタビュー

が修学旅行で東京に来て、それでね、サインしてちょうだいって友達をいっぱい連れてきたんですけれど、うれしかったですね」

●ホントよかったね。

「うん、やっぱり、ああいったチャンス（マガジンの"こんないいコみつけた"シリーズに登場し、グアムに撮影にいき、デラマガの表紙から巻頭大ページを飾ったこと）って、そんなにはないでしょう。だから決まったって聞いたときには、すごくうれしかった。いいのかしら、いいのかしらって思って……。それまではただ漠然と（タレントとか女優に）なれたらいいなって思っていたのに、あれは絶対に普通の人はなれないと思っていたし、絶対になれるものではないと思っていたので、憧れの気持ちで「いいなあ」って思っていたくらいで、でも、それほど強く思ったわけでもなく、将来はどこかの大学にいって、どこかに就職しようって真剣に考える高校生だったから。そんな漠然とした気持ちのときに、ああいったチャンスが舞い込んできたので、これは離してはなるまいと、こう片すみにあった思いが、ムクムクともちあがってきましてね。デラマガっていえば、伊藤麻衣子さん（第1回MISSマガジン）がデビューして、いっぱいのページに載っていたのを知っていましたし、女のコの友達が森尾由美ちゃん（第1回こんないいコみつけた）の大ファンだったので、由美ちゃんの写真集「PHOTOGRAPHIC・MAGAZINE」を持っていたのね。神戸の学校の時、授業中にそれをみんなで見ていて、ヒャー、キャー、こっちから見るとカワイイ、キレイとかいっていたのね。だからよく知っていたんですね。でね、こういう雑誌に出られるって、ビックリ、ビックリ、ラッキー、ラッキーって、みんなに電話しまくって、すごく喜んでいたの」



●巻頭カラー36ページだったよね。

「かえって悩んでしまったんですね、36ページもどんな顔ができるんだろうかって……。斉藤由貴ちゃん（第3回MISSマガジン）のDELUXEマガジン№9の写真を見ては、鏡の前で表情やポーズのまねをしたんですよ、おかしかったですよ、今から考えると。でも、まねはまねでしかないし、初めてのことだし、ねえ、もう悩んでしまったですね」

●一生懸命だったんだな。

「もう、出発の日はくるし、グアムでは緊張してしまってモノがのどを通らないし（今から考えるとウソみたいだった。そういえば、さっきバッグをごそごそやって取り出したアーモンドチョコレート、乾燥梅干し、えびせん、塩こんぶを新幹線の小さなテーブルの上にどおっと並べて一生懸命、口に運びながら、インタビューに答えている）。なんとかページを減らされないようにがんばろうってね（誰もページを減らすなんていってないのにね。陽子ちゃんて、ほんとにかわいいんだ）。とにかく、どんな顔に写されてもいいように、いろんな顔しようって必死だったんですよ」





●でも、その熱意がみんなにも伝わって、陽子ちゃんファンがドッといっぱいついたんだね。

「撮影が終わった瞬間、ああ、終わった！　感激！　でもこれでよかったんだろうか？　といったような複雑な気持ちといままでの緊張感か

ら解放されて、ワーッと泣き出してしまったんですね(ほんとに陽子は純な女のコだナ)。泣き出してしまい、自分でもびっくりしてしまいましたね」

夜の遅い新幹線なので、陽子のファンはあまり見かけない。それでも3人の大学生が通路を通りかかり、目ざとく陽子を見つけてサインを求めてくる。陽子はニコヤカに応対し、サインをしたためる。インタビューは一時中断。サインの後は握手を求められる。爽やかに握手をする陽子。疲れているだろうにさすがだ。握手のすんだ3人の大学生は、今度はいっしょに写真。これにもニコヤカに応える。

●しかし陽子ちゃんは明るくていいね!

「そうでもないんですよ、実際には……」

●そうとは思わないけどね。(笑い)

「そうですかあ? ほんとは暗いんです。それをみんなの前で出していけないと思うので、あかるコぶっているのです」

●そうか、苦労しているんだな。

「演技をしているの、ふだんも」

●無理しているんだ。

「無理はしていないんですけどね。私って、すごく雰囲気に酔いやすいタイプなの。だから人がいると人の雰囲気に酔ってしまうんです」

●陽子ちゃんはまわりに気をつかう女のコなんだね。

「どっちかというと、ツンツンとおすましさんタイプに見られてしまうんですね。だから、学校では『あのコ暗い』とか『しゃべらない』とか、絶対に見られているのね。それでそんな時にね、雰囲気を盛り上げるために、ヒョーキンにはしゃいだりするのね。だんだん和やかになっていくんですけれどね、もうみんなの頭の中から、いつまでも変なコってイメージが去らなくて、結局、損をするのは私なの」

●そういうふうに見られて……。

「そう」

●辛いなあ

「辛いですね。辛いけど、でも自分でしていることだから、仕方がないっていつも反省しているんですよ」

●辛い思いをするんだったら、最初から、おすましさんでいけばいいのに……。

「でもね、ツンツンしていて、友達がね、遠ざかっていくのもいやだし。ファンのコなんかにも、すごくおとなしそうなお嬢さんタイプの女のコに見られてたんですね。ファンレターにも、そんなことが書いてあったりして、私、悩んでしまったんですよ。それで、ラジオのディスクジョッキーでね、ちょっと下品ぽく、元気よくしゃべったのね。そうしたら、『陽子ちゃんって、ヒョーキンなんだ』っていわれてしまって……。確かにね、多少はヒョーキンですけどね、でもみんなの前でやったりしてるとか、ラジオでいったりしてるほどじゃないんです」

●ところでこれからどんな役をやりたいの?

「時代劇の、お姫さまの役もいいけれど、町娘ね、それも団子屋のね」

●なんで団子屋なのよ?

「桶を持って、水をまいているところに、通りかかった若侍に水なんかをかけてしまい、『アラ[illegible]とかいって、それで恋心が芽ばえてしまうなんて役とか……。桃割れとか、ああいうのっていいなって思っているのです」

●では、最後にファンのみんなにひと言。

「もっともっと、一生懸命にがんばりますので、お友達みたいな感じで、応援してくださいね」

あっという間に過ぎ去ってしまった2時間30分だった。ひかり274号は静かに東京に着いた。ちょっと疲れた顔をした乗客が三々五々、プラットホームに降り立っていく。我らが陽子も大きな衣装バッグをよいしょとばかりに棚からおろして、「これからポスターの撮影があるの」と疲れた顔も見せていない。新幹線の改札口には、どこで調べてくるのか、7~8人の高校生が待ち受けていた。陽子が改札口に姿を見せるとそっと寄ってきて、何かプレゼントを手渡すファン。サイン、握手を求めてくるファンに陽子はニコヤカ。そして南野陽子は、夜の東京駅の構内の人込みのなかに消えていったのだった。





YOKO WORLD

陽子と ドッキリ! ヒミツの 相性診断

星座でわかる、キミと陽子の関係は!?

バロン・木戸

陽子は6月23日生まれの蟹座なの。明るくって楽しくって、それでいて、大人っぽさがあって、さりげなくリードしてくれるような男のヒトがいいですネ。ぜいたくかな。好きなヒトには絶対つくしちゃうんだから。ん、可愛いお嫁さんになりたいっ!!



★まず星座から見た陽子の性格を分析してみる

陽子は23歳になったら結婚したいっていつもいってるけど、実際、6月23日生まれの蟹座の陽子は、心の暖かい家庭的な女のコなんだ。人とのつきあいを大切にして、誰かがいじめられていると、身を投げ出してかばってくれる。それが恋人のためなら、たとえ火の中、水の中、身も心も捧げつくしてしまうのだ。男性に対する理想は少々高くて、生半可な妥協はしないで充分吟味してから恋人に決めるからすごく長続きする。ただ、思っていることを胸にしまいこんでおけないしウソがつけないので、しらない間に相手を傷つけてしまうことも。でも、それは可愛さでカバー。合理的で計画的だが、いつまでも夢を忘れず、ああもしたい、こうもしたいと希望に燃える欲張りさんだ。

牡羊座 3 21～4 20

わりと派手めで、人気者とゆーかお調子者のキミに対して、反発を覚えながらもかなり意識をしているはずなんだが、なかなか素直になれないのが、陽子の実際でしょうネ。大勢だと徹底的に陽気なのに2人っきりになるとテレて思ってることが表現できないかもしれないが、頼りになるところを一発見せればそれで、陽子はイチコロ。

獅子座 7/24～8/23

キミとの恋は、どんな女のコにとっても最高に幸せなドラマになるはず　レター作戦や電話攻勢も決して女のコを不快にさせない　陽子にも押しの一手で攻めてOK。その気にさせれば、ちゃんとキミのあとについてくる。ただし短気をおこしてケンカでもしたら、お互い絶対に譲らない強情っぱりさで、永久にGood-byですゾ。

射手座 11/23～12 22

思いついたらすぐに行動に移すキミは、すでに陽子にレターぐらいは出してるんじゃないかい。わざとらしくなく、女のコを楽しませる作戦をいっぱい持っているから、ほんとつきあってて楽しいヒトです。だけど陽子とつきあうには他の女のコのこと考えちゃいけないから、ちょっときゅうくつで自由がなくなっちゃった気がするヨ。

牡牛座 4 21～5 21

もの静かで、すべてに慎重なキミに、論より行動がモットーの彼女はイラツクかも。ただ、キミの純真さと誠実さは蟹座の彼女の母性本能をくすぐることは絶対だ。度をこさない少年っぽいわがままさで彼女をリードしてみよう。デートの場所なんかも、彼女に決定権を委ねずに、キミのペースで決めましょう。男っぽさに弱いのだ。

乙女座 8 24～9 23

キミのきちょう面な性格が、陽子のすこしズボラなところをカバーできれば吉、欠点として目についちゃうようだったら、この相性は凶ですね。キミにとっては少々不まじめと思えるぐらいの態度で接すればいいんだけど、あんまり背のびしてワルぶる必要はない。ただせめてもうちょっと手をつなぐぐらいはしたらどうなの!!

山羊座 12/23～1 20

好きだなと思ってもなかなか燃えることのなかったキミ、恋について深刻に考えすぎているんじゃなかろうか。もっと軽い気持ちで女のコと接してみようよ。陽子って話はおもしろいし、それでいて根はスゴクまじめだから、キミにはうってつけ。もし彼女のうわべの軽さだけが目につくようなら、キミの人間の見方って要注意。

双子座 5 22～6 21

頭脳明晰、話題にこと欠かず、スピーディーな行動派のキミは、けっこう女のコと友達になる機会が多い。元来、あきっぽいからすぐに、次の女のコへ目移りしちゃうんだろうけど、陽子に決めたらもう浮気はダメだよ。見かけはさばけてるみたいでも、その嫉妬心はスゴイから。異性のこと以外なら、彼女は何でも許してくれるけどネ。

天秤座 9 24～10 23

クールな知性派、それでいて、女のコに対する理想のすごく高いキミには、陽子の内面はいささか女のコっぽすぎるかも。いくらシンの強そうな彼女だって女のコとして男のコに甘えたい心って、十分すぎるくらい持ってるんだから。好きな女のコに対して同志って感覚でいると、女のコは突き放されているように感じるものだよ。

水瓶座 1/21～2/19

キミっていつも周囲に女のコがいたから、女のコの気持ちってスゴクよくわかるのネ。説明しなくてもすぐに理解してあげるから、とっても頼りにされているんだけど、いろんな女のコのいいトコロみんな好きになっちゃって、どうしても1人にしぼれなかったわけ。キミの誠意が伝われば、陽子は待っててくれる。キミの出方次第だ。

蟹　座 6 22～7 23

ネチネチ、アツアツ、もうやめてくれ～って周囲がいいたくなるほど、うまく進めば、キミと陽子って一生モンだ　相性はバツグンだけど、2人とも相手の出方を見守っているキライがあるから、最初の第一歩でどう行動するかが肝心。ドラマチックなロマンスが生まれないところが陽子にとって、少々期待はずれで不満は残りますが。

蠍　座 10/24～11 '22

自分では地味だと思ってるかもしれないけど、シブイ男っぽさがにじみ出て、かくれファンの多いキミ、陽子タイプの女のコだって例外ではない　明るい陽子の前に出たってアセルことはないよ、彼女がうまくイニシアチブをとってくれるから。陽子のすることに批判的にならずに、いっしょに楽しむ努力を惜しまなければ大丈夫。

魚　座 2/20～3/20

甘い言葉を信じて、すぐにだまされてしまう優しいハートのキミ。誘われたら断れないタチですから、本命でない女のコとつきあって、いいかげんに妥協してしまう可能性がある。自分の本当の気持ちを認識することから始めないとホンモノの恋は得られない。陽子への気持ちを大切に育てるつもりなら、すべてを捨てる強さも必要。

YOKOの性格自己診断

純なYOKO、潔癖なYOKO、涙もろいYOKO、おちゃめなYOKO、みんなホントのYOKOだ。



●あまのじゃくvs.素直な陽子

イイか悪いかは別として、とにかく陽子は喜怒哀楽が激しくて、それがスグ顔に出てしまう。だからムッときた時、うれしい時、表情がコロコロ変わってそのたびに陽子の感情はまる見え。自分では「あまのじゃくで、心と反対のことをしてしまう不器用もの」というけどトンデモナイ！　ウソがつけない素直な女のコなのだ。

●お嬢さまは水着撮影が大の苦手

神戸のお嬢さま学校に通っていた陽子は、芸能界デビューする時、ミニスカートの撮影はイヤ、水着撮影なんて恥ずかしくて絶対ダメ〜だった。なんたって、女のコの友達とプールに行くのも恥ずかしくてイヤだったという正真正銘のお嬢さま。ブリッコじゃなくて、ホント純なんだ！　だから陽子にとって水着撮影は命がけなんだヨ。

●半年で無くしたモロモロの話

物を無くすことにかけては名人級の陽子。ザッとこの半年の間で無くしたものを挙げてみると、財布、キャッシュカード、メガネ、コンタクトレンズ４枚……。パッと思い出したものでこれだけあるんだから、ジックリ考えたら数えきれないくらいあるかもしれない!!　陽子、クレグレもその暖かいハートだけは無くさないでくれヨ！



●オモチャ箱をひっくり返した季節が……

陽子のお気に入りの季節というのは少し変わっている。ふだんは説明するのが面倒くさいから、春と秋、というけれど、本当は季節が移り変わる微妙な瞬間。長袖あり、半袖あり、また、カラフルな色あり、あったかそうな色ありと街全体がオモチャ箱をひっくり返したみたいになる、その一瞬の不思議世界が陽子は好き。

●陽子は愛のキューピッド！

子供のころ、おせっかいやきだったという陽子。４歳の時習っていたバレエも、アレコレとよくまわりの友達にチョッカイを出し、それが原因でわずか１年でやめさせられたとか。さすがに最近は落ち着いてきたが、それでもすぐに愛のキューピッド役になって、カップルを作ってしまうというところはやっぱ変わらない。

●大切な大切な宝物

乙女チックな陽子が何よりも大切にしているのは手紙とお守り。手紙は両親からのもの、友達からのもの、ファンからのものといろいろあるけれどどれも宝物。昔もらった手紙を読み返しては思い出にひたるのが好きなんだって。またお守りは持っているだけで安心できるから、外に出る時は必ず一つ持っていくようにしている。

●絶対にやめられないクセ

毎日のできごとを日記に綴（つづ）る習慣がある陽子。きっかけは小６の時。「誰々（だれだれ）にＴＥＬした、何分」という簡単なメモからスタート。今では長い時で大学ノート５〜６ページも書くというからスゴイ。ただ電話する時も「○○さんのお宅ですか」と、まずメモをしてそれを見ながらかけるので、いつも棒読みになってしまうんダ。

●一見、暗め、実はあっかるい！

ツンツン、おすまし、暗〜いコに見られるのが悩みのタネという陽子。ところが実際は、というと、もうメチャンコ明るいんだ。突然、道のまん中にしゃがみ込んで「タコヤキッ」と大声で叫んだり、体をねじって「ソフトクリームッ」といったり。だから、いつも陽子のまわりには笑いが絶えないのダ!!

YOKO WORLD

こんな男のコが好き

神戸のお嬢さんタイプの陽子に迫れるのはこんなタイプの男のコだ!



●つくすタイプの陽子は亭主関白な人が理想

陽子の恋人になるための絶対条件は、亭主関白っぽい人であるコト。グイグイ引っぱっていってくれるような男らしい人が陽子の理想。というのも、陽子は、今どき珍しい〈あなたさまにつくしますタイプ〉なんだ。だから、「オレのいうとおりにしろ」なんて命令されると、トコトンつくしてあげたくなるそうだ。九州男児、関白宣言、大賛成!

●陽子の長電話に耐えられる人

松蔭女子学院時代、男のコから電話で愛の告白をされたことがある。それがきっかけかどーかは知らないが、陽子はとにかく電話好き。恋人ができたら、毎日のように電話で話したいと思っている。ただし、ペラペラと自分のことばかり話し続ける人はパス。陽子のおしゃべりを「うん、うん」と黙って聞いてくれる男性が理想。

●結婚するまで清い交際を続けられる人

何がなんでも23歳で結婚する、と大宣言している陽子。しかし、トーゼン誰でもいいってわけではない。ネチネチ、グズグズ、優柔不断なタイプは除外。やはり乙女の陽子とゴールインする人は紳士でなければならない。間違ってもデート中にキスを求めるようなコトはしないように。結婚するまでは清い交際を、というのが陽子の誓いなのダ!

●ひと言で愛を告白できる人

ムード派の陽子を口説くには、決定的なひと言でキメなければならない。現在、陽子が気に入っている言葉はNOBODYの歌の文句で「ボディガードにさせてくれないか」。いつでもどこでも〝好きだ〟〝愛してる〟とささやかれたいと思っている女のコも多いケド、陽子の場合は逆効果。ひと言でアタック!!

●結婚後、おけいこごとさせてくれる人

気持ちの上では、いつも束縛されたいと思っている。が、これが結婚後の話になると、「束縛されたくない」に変わるとゆーんだから乙女ゴコロは複雑怪奇! 理由は、結婚したら仕事は辞めて、お花や趣味の講座など、いろんなけいこごとに励みたいからなんだって。心だけ縛って行動は自由に。ウ〜ン難しい!!

●何でも知っている、物知り博士タイプ

ズバリ、賢い陽子にピタリと合うタイプは、頭の回転が早く、話題が豊富な男のコ。とにかく陽子は向上心が強い女のコなので、いろいろなコトを知りたがる。そのとき答えてあげられないよーな人はダメ!! ことわざ事典や、歴史など、あらゆる分野をマスターして、どんな質問をされてもニッコリ微笑んで答えられるくらいの余裕は欲しい!

●ディズニーランドで愛を語り合うのが夢

男のコとデートをするなら、絶対ディズニーランドと決めている陽子。思い切り楽しい時を過ごした後は、ロマンチックな夜のディズニーランドで愛を語り合うのが夢。ただし、恋愛に関しては信じられないくらい奥手の陽子。一対一で話をするなんて恥ずかしくてできない。キミは、ウブな陽子を優しくリードしてあげられるカナ?

●三浦洋一タイプのシブ〜い大人の男性

小学校、中学校と、ずっとアイドルに憧れていた陽子。ちなみに大好きだったタレントは川崎麻世、三浦友和というド・ハンサムばかり。しかし最近では三浦洋一、柳生博、岩城滉一といったシブ〜い大人の男にひかれ始めている。陽子の気をひこうとハシャギ過ぎるとあきれられるだけなので、要注意! せめて雰囲気だけでも三浦洋一しよう!!

「孫子の兵法」に〝敵を知れば自ら百戦危うからずや〟という有名な言葉があるのじゃ。つまり、陽子の性格、行動範囲、ウイークポイントをよ〜く知れば、陽子をひとりじめできるというわけ。
さあて、ひとりじめできるのは誰じゃ！



情報分析



血液型による侵攻作戦
Ｉ目標　南野陽子・血液型Ｂ型
II情報　Ｂ型の女のコは次の特徴がある。
①個性的で明るい社交家である。その明るさにもイヤミがない。
②冗談やイタズラが大好きで野次馬精神も旺盛である。
③多情というか、情に厚く、他人に同情しやすい。あきっぽい性格で浮気なトコロもあるが、シット心も強いので要注意。
④エッチなことにも興味を示せばワリと平気でワイ談などもしてしまう。しかし、イヤラシさはなく、あっさりしている。
III行動　きっかけを作るならば、スポーツやグループ交際をとおしてお友達になるべし。話では聞き上手になってやること。
IV追加対策　Ｂ型の女のコは理論派のＡ型や個性の強いＯ型の男のコにひかれてしまうが、相性が最高によいのがＡＢ型である。以下Ｏ型、Ｂ型と続いてＡ型とは最悪。

出身県への包囲作戦
陽子ちゃんの生まれた兵庫県は瀬戸内海と日本海を結ぶ県であり、北と南で地形も気候も全く異なる多様な風土を持っていて、県民意識も薄く、民間の県人会もない。
古くからの貿易港である神戸の影響からか、開放的で新しい物好きなところがあって、ハイカラである。
牛肉で有名な但馬や酒の名産地の灘で鍛えられた舌を持つグルメでもある。
特別参謀・殿山泰司センセイの分析によると、
①神戸の女は舶来食料品の匂いがする。
②同じ開港都市でも、横浜の女ときっぷのよさは共通だが、神戸の女はより洗練されていて、小意気である。
③神戸女の気質はさっぱりしている。↗
④女をよく知った男にとっては、神戸女はたまらない魅力がある。（「日本女地図」より）
ということから、ただただ相手側陣営はよいところばかりのように思えるが、隣の大阪の泥臭さが神戸の上品さをきわだたせているという点も考慮しなければならない。
●兵庫県出身者＝アン・ルイス、大地真央、渡哲也、浅野ゆう子

行動ゾーンと情報分析
Ｉ陽子ちゃんの好きなもの　①ごはん類、特にコンビニエンス・ストアで売っているオニギリ　②シーチキン　③ミルクチョコレート　④学科では国語　⑤ＴＶでは「プロ野球ニュース」　⑥ラッコ　⑦すみれ、ききょう
II陽子ちゃんの苦手なもの　①外車　②音楽・現代社会・歴史　③イジケる男
III買い物ゾーン　服はラフォーレ原宿、メルローズ、ビギなどで。好きな服はイッセイスポーツとかニコル。文房具や食器などの買い物は大阪の梅田に雰囲気が似ている銀座のデパートで。新宿の町は怖い。
IV喫茶店　取材でよく使うのは新宿京王プラザホテルの「ジュネ」。撮影の時は、東映大泉撮影所近くの「ＯＺ」の５階をお昼時と夕方に確保している。
Ｖ交際工作　陽子ちゃんの出没する喫茶店に潜入し、好物のシーチキンのオニギリなどの差し入れをジュータン爆撃のようにプレゼントしてみるべし。

熱血ファンからの援軍
通信①　サイン会で握手した時、ボク、うつむいてしまったのが一生悔やまれます。
「男のコが手を握ってアガッてしまうようないいオンナじゃないですよオ」
通信②　東洋大姫路高校に彼氏がいたってホント？
「同じ兵庫県の学校ですけど、知りあいは１人もいません。いろいろな学校に彼がいるっていわれるけど、そんなことありませんよ」
通信③　陽子が夢の中に出てきてからは、オチこむと陽子を食べたいって叫んでるんだ。
「オチこむと、っていうのが引っかかりますねー。私はナマモノですけど、カタイですよ。残念ですけど、食べられませ〜ん」

YOKO WORLD

YOKOひとりじめ作戦

YOKOの心を奪うのは誰だ!



宣戦布告

お嬢さんタイプへの正規戦

宣戦布告　陽子ちゃんが神戸にいたころ通っていた松蔭女子学院は、100年近い歴史を誇るミッションスクールの名門である。これは明らかに〝お嬢さん〟であるといえる。我々はすみやかに、これを攻略しなければならないのだ。

電撃戦対策　関西地区において松蔭女子学院は、〝お嫁さんにするなら松蔭〟といわれるほど、強力な〝お嬢さん〟養成機関である。その装備も、夏は白いワンピースで、体のラインがピッタリ出るという制服を装着、接近戦を企てるオトコを電撃的にセン滅せしめる威力を持っている。

持久戦対策　冬の制服は紺のワンピースに↘



白いエリ、白いカフスである。ボタンが隠れているので、男にとっては、どうやって着るのか謎とされる完全な防護服である。オシャレな制服で鍛えられ、ファッション情報に敏感で、ブランド物の備蓄も十分ある。

　これをなんとかしようとしても、いたずらに時間を無駄に浪費するだけだ。ゴージャスな攻撃やリッチ作戦といった物量作戦の効果はあまり望めない。おとなしく無条件降伏してしまおう。↗

　そこで学びたいのは、フランス革命のころのラツ腕外交家ジョゼフ・フーシェやタレイラン、はたまたアメリカのキッシンジャーなどの手口である。

　外交も戦略のうち、「好きだ」などと幼稚な正面攻撃は回避して、彼女についてのあらゆる情報を収集し、彼女の心理を十分読みとり、威嚇し、懐柔し、一瞬の機会をも逃さず、有利な駆け引きをするのだ。権謀術数を大いに学ぶべし。

口説き文句による狙撃訓練

　最後に一発必中のＩＣＢＭ(大陸間弾道弾)のように、必ず戦果のあがる殺し文句を伝授しよう。

　陽子ちゃん自身はＮＯＢＯＤＹの歌の中の**「ボディガードさせてくれないか」**というような愛の告白をキメの言葉に指定しているが、女のコにも人気のある小説から最新兵器を提供しよう。

「僕はずっと君を捜していたんだよ。信じてくれないかもしれないけれど、君は僕にとって100パーセントの女のコなんだよ」(「4月のある晴れた朝に100パーセントの女のコに出会うことについて「カンガルー日和」」村上春樹)

「君は食べてしまいたいほど可愛い」(「親愛なるエス君へ」連城三紀彦)

「キスしたい。2人が恋人同士であることの証に」(「優しいサヨクのための嬉遊曲」島田雅彦)

　さて、勝利への道はつかめたかな?　たとえ恋の捕虜となっても、あくまでもイニシアチブをとるのは、オトコであるキミなのだ。諸君の勇気ある戦いを望む!!

　さあ、突撃だッ!!

YOKO雑学事典

どこにも話さなかったこんなちょっとしたエピソード、知ってる!?

イラスト／南野陽子

コーン、キャベツ入りの七草がゆはいかが!?

●レタス入りミナミノ七草

今年の1月7日、急におかゆが食べたくなった陽子。料理はほとんど自信ナシだが、「七草がゆの日」ということもあって、七草を入れたおかゆ作りに挑戦！　スーパーでレトルトのおかゆ、サラダを買って来て作り始めた。おかゆの中にキャベツ、コーン、かいわれ、にんじん、レタスを入れ、完成。とっても信じられないようなおかゆだけど、"ミナミノ風七草がゆ"として流行るかもネ！　陽子にいわせると「なかなかおいしかった」そーであります。

●ドジッコ陽子

近眼の陽子は、人まちがいが得意中の得意。ドラマで一緒に撮影している女のコだとカン違いをして、「おキョー」と大声をかけたら、全然知らない人だったとか。また陽子は平衡感覚がイマイチなのか、しょっちゅう、ころんだり、頭をぶつけられたり、ふらふらしている。しっかりしてくれよ、陽子ッ。



●神戸―東京、深夜のホットライン

電話魔の陽子は、落ちこんだとき、悲しかったとき、かならずといっていいほど神戸の友達の家に電話をかける。話題はもっぱらうわさ話。誰々と誰々がカップルになったとか、誰々はこのあいだこんなことをしたとか……。男のコの話はしないのカナ〜？と聞いたら「シークレットです」だって。

●誰もわたしに気づかない！

お正月に兵庫の実家に帰ったとき、陽子は友達といっしょにボーリングに行った。みんな昔からのなかよしだから、ワーッ、キャーッなんて楽しくやってたんだけど、途中で陽子は、ふと気がついた。

「あれ、まわりの人、誰も私に気がついてくれない！　南野陽子がここにいるのに〜」

なんとなく落ちこんでしまった陽子。

「メガネをかけてるからわかんないのかな、とか思ったけど、それにしても誰も気がついてくれないなんてねえ……」と、ちょっぴりくやしそうな顔で話してたよ。

●弟と陽子はソックリさん

陽子には1歳年下の弟がいるってコトは知ってるよね。んじゃ、恥ずかしがりや、負けん気が強い性格がソックリで、同じ性格ゆえにケンカするとハデに騒ぐってことは知ってたかな？　最近は弟のほうが腕力もあるし、背もずっと高いし、陽子の負けが目に見えているからしないんだって。昔はTVのチャンネルあらそいが得意中の得意で、顔を合わせればかならずケンカ、陽子が泣き出すまで止めなかったという2人。まあケンカするほど仲がいいっていうからネ。ところで、弟の顔と陽子の顔ってウリウリソックリ。性格だけでなく顔までも……。どうなっているんだ、この姉弟!?

おとなしい陽子ファン。もっと追っかけてネ！

●フツーの女のコでいたいから

正月に神戸に帰ったとき、陽子はずーっと友達と遊んでいたんだけど、チョッピリ悲しかったことがあったんだ。それは昔の友達からサインをねだられたこと。陽子は自分を特別に"芸能人だ"という意識はしていないし、友達といるときはよけいフツーの女のコでありたいと思っている。ところが友達は、陽子が芸能人になったことをすごく意識しているみたいなんだ。いつでもどこでもフツーでいたいという陽子。ちょっぴりさびしそうだった。



●スケバン・傷だらけのNG編

運動は大の苦手という陽子だが、「スケバン刑事II」のおかげで、なんとか人並の運動神経になったそうだ。ヨーヨーで遊べるくらいになったんだからスゴイ!!　今はヨーヨーの二刀流を習っているんだって。

しかし、現実はキビシイ。そう簡単にスポーツ万能になるわけない。あんのじょう、陽子も本番前、タイミングが狂って、頭にパカーンと当てたり、背中にぶつけたりと涙ぐましいリハーサルを繰り返しているのだ。また、いくら練習しても本番でNG続出、ということも。アクションてホント、難しいんだね。

●もっと追っかけて！

いまや爆発的人気の陽子だから、いつも大勢のファンに追っかけられてるのかと思ってたら、意外にそうでもないらしい。「私のファンの人っておとなしい人が多いみたいで、追っかけてきて、ワー、ギャーなんての、わりと少ないんですよ」だって。人気が出たら、どこへ行ってもワンサカのファンに追っかけられると想像してたらしくて、ちょっとものたりない陽子。でも、だんだんファンも過熱ぎみになってきたから、もうすぐウレシイ悲鳴をあげることになりそうだね



YOKO WORLD



●ピアスなんて、もうしない

陽子は高一のとき、友達の真似をしてピアスをする決心をした。ちょうど、そのころ神戸ではピアスがはやり、陽子の友達もみんなしていたんだ。それで自分も……と思い、友達の家で麻酔ナシで安全ピンを耳にブスリ、ブスリ。結局、耳に穴を開けるのは成功したんだけど、親からもらった大事なからだを傷つけてしまったという後悔がズドーンと陽子をおそった。「陽子には、そんなことできっこないわよ」とタカをくくっていたお母さんもビックリ。悲しませたと思った陽子は、それからピアスをやめてしまった。

●世話女房の素質は十分！

陽子は世話役タイプだから、食事をしてても人のことが気になってしようがない。先日、シャブシャブを食べながらインタビューしてたとき、突然、「おニクーッ」とか、「ハクサイーッ！」とか元気な声を出すので、なんのことかと思ったら、煮えてるから早く食べなさいという合図らしい。「お肉が煮えてますよ」というのはなんとなくワザとらしいから、陽子流気くばり語で教えてくれるんだよね。





●モリモリ陽子は3キロ増！

「スケバン刑事」の撮影に入ってから、なんと3キロも太ったという陽子。普通アクションがきついドラマを演ると、疲れてゲソゲソにやせてしまうものだが、陽子の場合はまったく逆。睡眠時間が少ないから、トコトン食べなければ元気が出てこないというワケで、毎日モリモリ。その結果が3キロオーバーになってしまったのだ。

●一人暮らしのプラス・マイナス

東京に来るまでほとんどナ～ンにもしたことがなかったというお嬢さまの陽子。ところが今は実家が、母上がなつかしい～って感じ。全部、自分でやらなければならないんだもんネ。おかげさまで動作が昔に比べるとかなりスピーディーになったそうだが、反面、へんにカリカリするようになったところがマイナス点とのこと。

陽子の歌もいいね。「春景色」がお気に入り。

●色っぽい声だって出せるんじゃき

ニッポン放送のDJ番組「落書きだらけのクロッキーブック」で、投書のいうとおりにしなければならない、コワ～いコーナーがある。

「色っぽい声で〝スケバン〟の決まりセリフをいってくれ」という注文に、照れやの陽子は「そんなことできなーい！」とイヤがっていたが、ムード音楽がかかると、「よし、がんばるゾ!! ……なんの因果か十と七つで……」と、色っぽい声で話し始めた。が、すぐにプーッと吹き出してしまい、3度目のチャレンジでやっと、OK！ 低い声で話すと、ドキッとするほど大人っぽい声になる陽子、自分で知ってて恥ずかしがってるのかな。

●メカに強くなりた～い！

身のまわりのことを一人でやらなきゃならなくなった陽子にとって、最大の敵はメカ。なんでも、扇風機の使い方を知らなくて、あわてふためくほどの機械オンチだから、洗濯機とも悪戦苦闘。最初のうちは、手で洗ったりしていたという。今では、説明書とにらめっこしながら、使えるようになったらしいけどね。そこで、今の最大の課題は、ビデオの予約ができるようになることなんだとか。

●B面は故郷の香り

3月21日は3枚目のシングル「悲しみモニュメント」、4月21日は待望のファースト・アルバムが発売予定！

陽子のレコードなんだから、買って損をするワキャないってことはわかっているけど、もっともっと楽しむ方法、題して〈陽子のレコードを2倍楽しむ法〉をお教えしよう。

「悲しみモニュメント」のB面、そしてアルバム最初の曲に「春景色」というのがあるんだ。これが実は、陽子の故郷、神戸のことを歌った曲で、詞の中には陽子がよく知っている「アイランド・キャフェ」「スカイリング・ハイウェイ」などといったお店の名前が出てくる。だからして、トーゼン陽子がお気に入りの曲であり、また、彼女の思い出の曲なんだ。そのことを頭に入れて聴くと、また一段とジ～ンとなること間違いなし！

●ハジカキコーナー・有楽町哀歌編

またまたDJの話。同じく「かならずBOXやらないとBOX」というコーナーで、色っぽい声に続いて、今度は、「有楽町駅前に行って、歌ってコイ」というハガキが来た。もうこうなったらやるっきゃない！　と、がんばりやの陽子は、牛どん屋、くだもの屋などを次々にまわって歌った。「いいます。さよな～ら～と、みなみのようこです」と、突然お店の中に入って歌ったわけ。いつも番組終了後はドッと疲れが出るみたいだけど、これじゃあ、あたりまえだよね。いやあ、陽子、ホントにごくろうさま！



落書きだらけのクロッキーブック



イラストだ〜い好きの陽子が、写真集のためにかき下ろしてくれたイラストの数々。デビュー前のエピソードや、最近のズッコケ話などなど、陽子のお楽しみアルバム大公開！

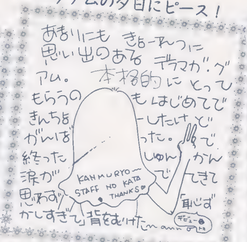
なんの物語、ここに始まる



恥ずかしすぎてめまい



グアムの夕日にピース！



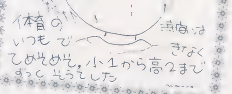
バレリーナになりたいナ



ハラハラドキドキ初舞台



泣き虫競争があればいいのに



イラスト・南野陽子

スケバンは忘れたころにやってくる



なんのが好きかサキが好きか

"なんのがなんのでいるよりも麻宮サキでいるほうが今は多いのです。最初は"スケバン"というひびきや鉄仮面など"ふつうでないのにびっくりしてとまどったけれど今はもうばっちり…好きです。♡



グッバイ、すくうるでいず

1986年．冬。今年卒業です。式にでたいです。だけど その前に まず学校に いかないとダメだし．test も うけないといけない。（あたりまえだ… ケケケ）今まで ほとんど いけなくて．NOW シワヨセ中です。同じ立場に 岡田有希子ちゃん♡は SCHOOL かいてました





かわいい笑顔で大人気！

なんのはコマーシャル好きです。もっともっといろんな商品のしょーかいがしたいよー。一番あなたはどれがいいと思いますか？



気に入ってるんです。



Q&A

全部聞きたい陽子のハナシ。全部知りたい陽子のヒミツ。そんなボクらの気持ちにこたえて、サービス精神バツグンの陽子が教えてくれた、Q&A、20問。今まで知らなかった陽子が、きっと見つかるゾ。



Q最近、読んだ本で気に入ったのは？

A以前は、片岡義男サンとか読んでたんですけど、最近は、「アンクル・トム」や「赤毛のアン」など読み返してるんです。原作に近いのを。今になってわかることもありますしね。



Qベッドでどんなカッコで寝てるの？

Aピンクの丈の長いパジャマ。プレゼントしてもらった水色のネグリジェも好き。寝相は悪くないほうだけど、疲れているときなんか、目を開けたまま寝ちゃうことがあるんですよ。



Qチカンにあったことは、ある？

Aありますよ。もう、どうしてあんなことするのかしら。混んでる電車の中で、フワーッとさわってくるんですよね。マジメそうな人が案外多いんですよお。



Q小さいころから、おしゃべりだったの？

A確かにおしゃべりなコではあったけど、ホントはおしゃべりじゃないと思うんです。今は意識しておしゃべりしていることもありますね。いいすぎて落ちこむこともよくあるの。



Q赤ちゃんが生まれるのを知ったのは、いつ？

A女のコだけ集めてスライドを見せるっていうのがあったでしょう。小学4年のときかな。女のコばかりだから、おもしろかったですよ。お人形サンとか出てきて。



Qお休みの日はどうしてるの？

A一度に二つのことができないんです。だから、洗濯するって決めたら、それだけ。Tシャツが浮いたり沈んだりしてるのをながめて、ボーッとしているんです。



Q土佐弁は、もうすっかり慣れたのかな？

Aまかせてください！「鉄仮面に顔を奪われ、十と七とせ。生まれの証さえ立たぬ、このあてじゃけど……」兵庫弁と東京弁と3か国語がしゃべれるって感じなんですよね。



Q「フライデー」に追いかけられたらどうするの？

Aいいですね。追いかけられるって、何だかゲームみたいで、すごく楽しそうですね。斉藤由貴チャンも出てたし、わたしもフライデーされてみたい！　ムリかしら？

YOKO WORLD



水色のネグリジェも



Qアクション・シーンにわりと縁があるよね？

Aええ、「スケバン」も「コロコロリン」もそうですね。ドラマの「時をかける少女」では、元オリンピック選手の白井貴子サンからバレーボールの特訓を受けたの。もう、アザだらけ。



Q結婚したら、ダンナ様にはどんな料理をつくるの？

Aお母さんに煮物とか教えてもらって、いかにも家庭料理っていうのをつくりたいんですね。品数をたくさんにするんですよ。何にもいわなくてもいいから、ちゃんと食べてほしい。



Q由貴チャンと比較されることが多いけど？

A「スケバン」の引き継ぎのとき、撮影がいっしょだったんです。細いし、かわいいなあって思ってたけど、演技になると、迫力あるでしょ。最初は、やっぱりプレッシャーありましたね。



Q自分の歌ってる曲について、どう思う？

A２枚目の「さよならのめまい」は、少し大人になって、大きな愛へ向かって旅立っていくっていう曲なんです。３枚目のシングルのＢ面「春景色」も大好きな曲なんです。



Q芸能界でできた、仲よしの友達は？

Aやっぱり、堀越の同級生が多いですね。学校では、みんなフツーの高校生してるんですよ。岡田有希子チャンとか、宮崎ますみチャン、本田美奈子チャン、長山洋子チャンとかね。



Qズバリ、特技は？

A白目！　もともと白目が多いコなんですよ、調子に乗って訓練してたら、全部白目にできるようになったんです。スタッフの人たちにおこられそうになったときにやるんです。



Qぜひやってみたいと思っていることは？

A学園祭に出たい！　お祭りが好きだから、みんながワッと集まってる場にいたいんです。ＬＰも出て持ち歌もふえることですし、ぜひ今年は呼んでくださいネッ！



Qファンは、どんな人が多いの？

A隠れなんとかみたいなファンが多いですね。全体におとなしめでマジメな人が多いみたい。自分で投げた紙テープを、あとでちりとり持って紙袋に入れて持ち帰る人とか。



Q23歳で結婚するって、いい出したのは、いつ？

Aあれは、フジテレビの「スケバン刑事II」の広報の人にいったんですよ。それから広まったみたい。半分ホント半分オーバーってとこですね。だって相手がいなきゃ。



Q雑誌に自分のことが書いてあるって、どんな気持ち？

Aやっぱり、最初は恥ずかしかった。雑誌によっては、オーバーに書かれることもあるんです。読むほうの立場ではそのほうがおもしろいかなって思うけど、ありのままを見てほしい。



Q修学旅行はどんな感じだったの？

Aまだ堀越に慣れてなかったときだったから、修学旅行で友達とうんと仲よしになれましたね。普通科の男のコがカメラ持ってきてたんで、ピースしたり。開放的で楽しかった。



Qゲタ箱の名札をとられたときのことを聞かせて？

Aちょうどマガジンに登場したときですよ。芸能コースで有名なコほど早くとられるから、〝堀越名誉〟っていわれているんです。学年が変わっていち早くとられたので、うれしかった。

YOKO WORLD

●YOKOの芸能界初体験

鉄仮面のスケバンなんて、なんかのマチガイだと思ったの。





▶銀座・山野楽器ホールでのデビューキャンペーン。



▶スタジオの特製プールでダリア化粧品のCF撮影。

◀日生劇場の「リトル・ウイミン」は初めての舞台。陽子は四女のエイミー役を演じた



▶ニッポン放送「落書きだらけのクロッキーブック」は、毎週1万通近くのハガキがくるほどの大人気。



▲CBSソニーのスタジオで、初めてレコーディングした陽子。このときはまだ余裕があったが……。



▼初主演ドラマ「時をかける少女」。プールに落とされたり、バレーボールの特訓されたりと大変だった。



◀陽子が由貴と初めて顔をあわせたのは「スケバン刑事」の記者会見のときだった

マガジンでデビューしたとたん、男のコの視線をひとりじめしちゃった神戸のお嬢さん。のんびり陽子のドタバタ芸能界体験記だよ。

●

●レコーディングがコワイ〜!

わたし、最初、レコーディングもできないコだったんです。「人が見ているとイヤだ〜、カーテンしめてください」とかいって泣いちゃったの。私が歌ってるのをガラスの向こうでみんな見てるでしょう、なんか怖い顔して。それがすごい不安で……。

今でもレコーディングのときはメガネを持っていくんです。歌い終わったあと、サッとかけて、スタッフの人たちの様子を見るんです。何いってるんだろうって。

●人前で歌うなんて、できないよ〜!

デビュー曲のキャンペーンで初めて大勢の人の前で歌ったんだけど、あれはホントに緊張しましたね。スタッフに聴かれるのもイヤなのに。ステージで歌うなんてと、またまた泣きそうになったの。歌ってるときも、パシャパシャッと写真を撮られてるときも、顔がカチンコチンで鉄人28号みたいになっちゃった。ファンの人と握手してるときも「これ、ホントのことかな」とボーッとしてましたよ。

●サインは待ってください

初めて「サインください」っていわれたときはギクッとしましたね、「わたしがそんなことしていいのかな」って思ったりして。今でもサインするときはテレちゃいますよ。

最初のうちはサインを頼まれても、「ちょっと待ってください。明日までに書いてきます」とかいって色紙を持って帰ったの。帰ってから新聞紙を何枚も色紙の大きさに切って、それで何度も練習してから、書いてたんです。「10枚ね」とかいわれると「えーっ!」て感じで四苦八苦でしたね。いつも練習してたから、何度もサインの字が変わっちゃって、スイマセン。

●マイクにおじぎしちゃった

ラジオでDJやってるけど、最初に収録したときは1人でおしゃべりしてるのが恥ずかしくて、終わったあとで顔がまっかっか。最近やっと慣れてきたんですよ。

デビューのころラジオ局を回ってゲスト出演したときなんか、「南野陽子サンで〜す」とか紹介されるでしょう。ペコリと頭を下げるんですよね、だまって。ラジオだから聞いてる人は、「なんだ?」って思うわけです。そんな失敗、しょっちゅうやってましたね。

●2代目は大変

「スケバン刑事」の出演が決まって、引き継ぎで初めて由貴ちゃんに会ったときも緊張してましたね。「これが由貴ちゃんの実物か」とか思って、不思議な感じでしたよ。

2人で記者会見に出たときも、やっぱり顔がカチンコチンで、はっきりいって浮いてましたね。取材に来てたデラマガの人から「どったの」と声をかけられたときは「知ってる人がいた」と、思わずホッとしちゃった。

SIDE.4

YOKO memory



初めてのカメラテストに緊張した表情の陽子。真剣にカメラを見つめるまなざし [illegible]



ビキニを着たのは、このときが生まれて初めて。すぐにドアの後ろに隠れてしまうほど、恥ずかしそうな陽子だった。

こんないいコ、見つけた!

初めて逢った陽子は、まさに衝撃的なういういしさと愛らしさを感じさせる女のコだった。その場で「よし、いこう! 巻頭大特集だ!」と決定。それ以来、マガジンは全精力を傾けて陽子を応援し続けた!



●カメラテストが恥ずかしくて泣きだしそう!

カメラテストのためにやってきた陽子と初めて出逢ったとき、マガジンのスタッフは思わず「オッ!」と声をあげた。「これほど新鮮で愛らしいコがいたのか」という驚きを隠せなかった。それほど衝撃的だった陽子。その場で大特集を決定した運命的な出逢いだった。

◀「わたしで、大丈夫かしら」と不安げな顔の陽子。素直で純情な陽子に、スタッフもしびれた!



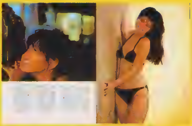
▲「水着が恥すかしくて、恥ずかしくて……」といってた陽子も、グアムではすばらしい表情とポーズを見せてくれた。

すべてはマガジンとの出逢いから始まった!



▶全国の書店に貼られたデラマガNo.13のポスター。ホント、ういういしいね。

●デラマガ36ページの大特集でデビューした!



撮影が決まると、すかさずグアムへと飛んだ。南の島で愛くるしい表情を見せる陽子をいきなりデラマガで36ページの大特集。「こんなコがいたのか」と大評判を呼び、CM・ドラマの出演依頼が殺到した。





何度もマガジンに登場し、ファンが増えてきた!



▲陽子狂いの読者のためにYOKO NEWSのコーナーも登場。



●熱〜いアンコールの声にこたえたデラマガNo.14!

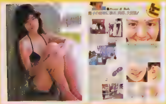
デラマガでは熱烈なアンコールの声にこたえて、No.14でも巻末大特集を組んだ。No.13のグアムとはうって変わり、静かな山里にたたずみ、情緒たっぷりの新しい魅力を見せてくれた陽子。必ずビッグになると予感させた陽子だった。



◀撮影を重ねるうちに、どんなポーズもサマになるようになってきた。

●陽子に大接近のデラマガNo.15!

デラマガNo.15は、CM・ミュージカル・ドラマ出演と、毎日があわただしくなりはじめた陽子に大密着。ほかではけっして見られない、デビュー直後の貴重なスナップがいっぱいだよ。



◀陽子のプライベートのすべてをクローズアップした特集が話題になった。



▶デビュー曲キャンペーンほかの貴重なスナップがいっぱい入ってるんだよ。

●少年マガジンの表紙と巻頭特集も大評判を巻き起こした!

デラマガに続き、少年マガジンでも表紙と巻頭特集で陽子がデビュー。「可憐でういういしくて、ちかごろめずらしいホントのお嬢さんだ」と200万人の読者にも大声援で迎えられた。「あ、マガジンのコだ」と街で声をかけられるようになった。



▶陽子がデビューした少年マガジンの表紙。清潔でセーラー服がピッタリ似合う女のコだ。





▲この品のよさと可憐さが、200万人の読者の目をとらえた。



◀デラマガの宣伝も陽子一色にぬりつぶされたんだよ。

●デビュー曲もマガジンで大応援!

6月23日の誕生日に「恥ずかしすぎて」でレコードデビューした陽子。「ボクらの陽子、ガンバレ!」と、少年マガジンは表紙と巻頭特集で陽子のレコードデビューを大応援した。





◀おさげ髪で、純白のイメージに輝く陽子。

▶さわやかな少年マガジンの表紙とデビュー曲のイメージがピッタリだった。





◀誕生日にはレコードとマガジンを手にして、とてもうれしそうな陽子だった。

SIDE.4

YOKO memory

そして、超ビッグ新星・陽子の人気が爆発!



▲ニッコリほほえむ陽子がまぶしいデラマガNo.17の表紙。





●再び巻頭26ページの大特集で爆発的に売れたデラマガNo.17!

デラマガNo.17は、古都・奈良に遊ぶ陽子を巻頭26ページ+インタビューの立体特集。陽子人気が大爆発で、「こんなにいっぱい陽子が見られるのはデラマガだけ」と売れに売れた。このころ、いよいよマガジンガール・陽子の写真集の撮影が始まったんだよ。



▲晩秋の古都の淡い光が陽子をやさしくつつむ。



▼書店でひっぱりだこのNo.17のポスター。

●デラマガだからできる水着独占特写がうれしいNo.16!

テレビCFにバンバカ出演し、ますます人気が出てきた陽子。デラマガNo.16では、ほかでは絶対に見せないフレッシュな水着姿を、またまた巻末で大特集。陽子に感謝!







▶ワーイ、ワーイと、いかにも楽しい少年マガジンの表紙。

●少年マガジンを、これでもかこれでもかと大特集!

新年特大号の少年マガジンに登場した陽子。「さよならのめまい」がヒットチャートを急上昇しはじめたころで、歌にドラマに、まさに「バンザイ、バンザーイ!」の陽子だよ。





▲陽子とさおりが並んで豪華な少年マガジンの表紙。

▼明るくて健康的な陽子はマガジンにピッタリの女のコ。



●陽子とさおりの共演が評判になった少年マガジン!

すっかりビッグになった陽子とフレッシュ八木さおりの共演が評判をよんだ少年マガジン。マガジンガールをめいっぱい応援し続けてる少年マガジンだから、いろんなことができるんだよね。

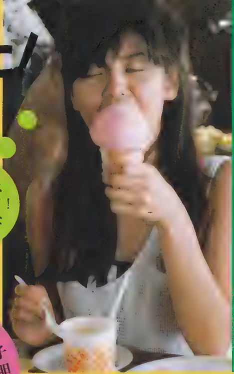


撮っちゃった！

GUAM



◀思えばグアムでの撮影が、陽子ヒストリーの第１ページだったんだね。



グアムのアイスクリームにガブリ！大胆すぎたかな

水がバシャッとかかっても、ワア〜イ、ワア〜イって感じで、すごく楽しかった――。

女のコの友達の前でも水着になるのがいやだったというくらい、恥ずかしがりやだった陽子。上京するときだって、ミニスカートの撮影もイヤ、ワンピースの水着も、ましてビキニなんてとんでもないと思っていた。だけど、青い海に青い空、初めてのグアムは、新鮮な感動でいっぱい。本格的な撮影は初めてだった陽子を温かく迎えてくれた。陽子も〝感激〟のしるし、Ｖサインを連発、勇気をふるってマガジン読者のために、ういういしい水着姿を公開してくれたよ。



澄みきった空、きれいな海、陽子もちょっぴり大胆になりました

◀ビキニを着たのは生まれて初めてだったんだよ。



▲南の島は、気分サイコー。見るもの聞くもの驚くことばかり。



▶水着に着がえるだけで、もう顔まっかっか。シャイな陽子。



◀グアムから国際電話!? だれと話してるの？



◀テニスコートの壁に背をもたれかけ、ちょっとだけものうげに。



▶お嬢サンっぽいしぐさが自然に出てくるのも、陽子だからこそなんだよね。

SIDE. 4

YOKO memory

陽子のなんでも

▼旅館の部屋のつくりは、一つ一つそれぞれ違っているのだ。





▲雀、山椒魚、鮎などの串焼き、鹿肉のさしみなど、野趣あふれる。



◀山間の静かな温泉町。心がなごみますね。でも、撮影で腹ペコになった陽子は名物料理を早く食べた～い気分なのです。

YUNISHIGAWA

峠を越え、山を越え、人里離れたロードのどんづまりの平家落人部落――鹿のさしみは怖かった！

栃木県は、日光の奥、川治温泉のそのまた奥にあるのが、湯西川温泉だ。平家の落人の村の一つとして知られているところで、撮影場所となった本家伴久萬久旅館も、平家24代目という、由緒ある旅館だった。しっとりと格調高い雰囲気はお嬢サンっぽい陽子にピッタリ。山菜や川魚などを使った色とりどりの郷土料理〝平家落人料理〟を前にして目を輝かせていた。食べること大好きの陽子だけに、「オイシイ、オイシイ」と舌つづみ。



▼海辺のテレフォン。ロマンチックだね。



NARA

奈良へ修学旅行中の生徒たちを狂乱におとしいれ、ファンにもみくちゃにされてしまったのだった！



◀人気もグングン上昇。疲れ気味なのに、表情はイキイキしている。

▼奈良公園の鹿。陽子がセンベイをあげれば、鹿もゴキゲン!?







▲修学旅行の生徒たちに囲まれて、記念写真をパチリ。



古都の[illegible]をた陽子は、初めて[illegible]珍し[illegible]はしゃいでいたが、超多忙スケジュールをこなしていたので、しきに寝ついてしまったのだ。撮影はしっとりムードで進められたが、東大寺二月堂の前で、修学旅行の生徒たちに見つかってしまった！ドラマやCFで、陽子はもうすっかり[illegible]もふりむいてくれなかった半年前とは、まるで別人みたいと、陽子も嬉しそうだった。



OKINAWA

真冬だというのに、直射日光は真夏のようだった。ビックリするぐらいにマッ青な空と海と、南西諸島はハッピー気分。

南西諸島は沖縄本島から400キロも南にはるかに飛んだ沖にある。すぐ目の前は台湾だ。石垣島を中心にして、竹富島、西表島、与那国島――美しい珊瑚の島々が点々と散らばる南海の楽天地だ。撮影は、この島々のうちのひとつ、星砂が取れるので有名な竹富島で行われた。陽子もビーチで小さな星砂を丹念に集めたり、打ち寄せる波と戯れたり楽しそうにしていた。海も空もあくまでも青く、陽子を歓迎してくれていた。



▲竹富島に向かって疾走する高速船の上で心から楽しそうにする陽子。



▲撮影中にふざけて泣きまねをする陽子。おもしろいコだよね。だから、こんな陽子にみんな夢中になってしまうんだろうね。



▶陽気な陽子がいれば、まわりも楽しくなってくるのだ。



◀陽子は欠食児童？ いつもスパーの紙袋から、お菓子をとりだしているのです。いま、陽子は色気よりも食い気？





◀ヘヤメイクのおじさんに強く髪の毛を引っ張られて、思わずイタッター。



◀撮影のひととき、マネージャーのおねえさんとふざけあいっこをする陽子。仲のよい姉妹のようだ。



▼夕食後のひととき、スタッフのみんなで歓談中に、氷のかけらを口にいれようとふざける陽子。



SIDE.4

YOKO memory

お嬢さまはアマーイ秘密の香り

BODY & GOODSを超密クローズアップ!



SWEET BODY

イチゴの唇に危険な大接近!

顔の中では目とおでこが気に入ってる。おでこは「せまくて生えぎわがきたない」と思い込んでたけど、中3ぐらいから「これはこれでいいや!」とチャームポイントだと思うようになった。体の中ではクニクニしてる手首が好き。関節が柔らかくて、以前は手をブラブラさせて後ろへ曲げると、指先が腕についちゃうぐらいだった。



▲まっ白で健康的な歯と、ポッチャリしてて優しそうな唇。最高!



◀目は両方とも0.06ぐらい。ふだんはコンタクトレンズをしている。



▲手と指の形は自分でも好き。ピースサインしたりパッと広げたりと、よく動く。

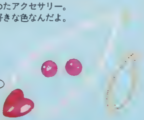


▶フッと息をふきかけてみたくなるほど柔らかそうでふくよかなナンノの耳たぶ。

PRIVATE GOODS

女のコ中の女のコの持ち物

「小さいころから女のコしてた」という陽子だから、持ち物もお嬢さんの香りでいっぱい。帽子集めが趣味で30コ近く持ってるけど、最近はあんまり増えてない。そのかわりにどんどん増えてるのが、ファンからもらうぬいぐるみ。最近6畳と4畳半のマンションに引っ越したけど、早くも衣装とぬいぐるみでいっぱいになりつつある。



▶神戸時代に集めたアクセサリー。ピンクはわりと好きな色なんだよ。



▼手作りのアイマスク。どこでも眠れるようにいつも持ち歩いてる。



▲ベレーありハットありで、帽子は30コぐらい持ってる。



▶友だちからもらったウッドペッカー。とても大切にしている。



▶おこづかい帳。使ったお金やスケジュールが書いてある。



▲化粧道具ほか、女のコの秘密がいっぱいつまってる引きだし。



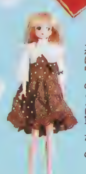
◀ぎっしりつまったファンシーケース。陽子のいちばんの出費は洋服。



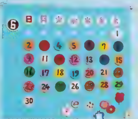
▼ふだんはあまり化粧をしない。これは最低限必要なセット。



◀お守りはいっぱい持ってる。左は芸能お守り。



◀バービーちゃん人形が大好き。これは中3のときに買ったもの。



▲お母さんが作ってくれたカレンダー。毎月並べ換えて使う。



▶昔よく履いてたリボンつきのクツ。

CF & RECORD GRAFFITI

テレビ・ラジオで大人気の陽子。ビッグへの道を歩きはじめたって感じだけど、陽子の出たCFとレコードを丸ごと全部集めてみたよ！

CF

陽子がいっぱい、いつでも逢える！

お正月に家族とテレビを見ていたという陽子。コマーシャルのたびに陽子が登場するので、恥ずかしくていつもトイレにかけこんでたとか。陽子がテレちゃうくらい、今やすっかりコマーシャルの人気者になってしまった。そこで、サイコーの笑顔を見せてくれた、陽子が今までに登場したCFをふりかえってみよう。

CF・コレクション

「ダリア化粧品・ベネルック」



スタジオの中のプールに足をつけっぱなしの撮影だった。まる一日、じっとガマンの陽子にスタッフも拍手。

「ハウス・コロコロリン」



大好きなお菓子のCFだけに、陽子も大ハリキリ。だけど、コロコロ転がるシーンでは、なぜかドタンバタン。

「キリン・2101」



杉本哲太クンと共演した。カレの頬をひっぱたくシーンでは、思いきってできなかったとか。陽子らしいね。

「KDD・国際ダイヤル」



受話器に向かって陽子がしゃべりかけるCFも好評だった。電話魔の陽子にはピッタリのCFかもね!?

「富士フイルム・フジカラーHR」





「大きくするとますますカワイイ」「お正月を写そ」と、名文句が続々生まれて、茶の間に大きなインパクトを与えたシリーズ。

RECORD

歌も大人気！ ヒット・チャート急上昇！

陽子人気の広がりとともに、2枚目のシングル「さよならのめまい」がヒット。それにつられて、1枚目の「恥ずかしすぎて」も再びチャート上昇中というから、おもしろいね。かわいい声でせつなげに歌う陽子。ファンが首を長くして待っていたデビュー・アルバムもいよいよ4月21日に発売だ！




デビュー・シングルのパンフレットとセカンド・シングルのポスター。ういういしい陽子がいっぱい。

LP



●Debut LP
ジェラート
発売・昭和61年4月21日予定
陽子ファン待望のファースト・アルバム。持ち歌もふえて、これでコンサートや学園祭出演もできると、陽子もゴキゲン！

SINGLE



●3rd. Single
悲しみモニュメント
発売・昭和61年3月21日
期待のニュー・シングルは、「スケバン刑事II」の主題歌になった。メリハリのきいた感じのいい曲だ。いよいよベストテン番組の常連だね。



●2nd. Single
さよならのめまい
発売・昭和60年11月23日
人気爆発とともに、ヒットチャートをグングンかけ上がった。「スケバン刑事II」でも挿入歌として使われた。来生コンビによるメロディーも好評。



●Debut Single
恥ずかしすぎて
発売・昭和60年6月23日
陽子の18の誕生日に発売された、記念すべきデビュー・シングル。人前で歌うのが恥ずかしくて、レコーディングのとき、泣き出してしまった。

デラマガだからできるYOKOプレゼント 1200人

●この写真集に出たキミの好きな陽子の生写真がなんと1000人に当たる！

Ⓐ〜Ⓙこの写真集に出てきた写真10枚の中から、好きなものを生写真にしてさしあげます。各組それぞれ、なんと100人ずつ！


Ⓘ

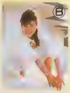

Ⓙ


Ⓖ




Ⓕ


Ⓓ


Ⓑ


Ⓗ


Ⓔ


Ⓒ

応募のきまり

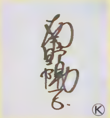
官製ハガキに、欲しいものの記号を書いて、ウラ表紙カバーにある応募券を貼って、〒112 東京都文京区音羽2-12-21 講談社 デラックスマガジン「南野陽子ひとりじめ」係まで送ってください。しめ切りは、4月30日。なお、賞品の発送をもって当選者の発表といたします。

Ⓛ陽子が巻頭を飾った、No.13とNo.17のデラマガの宣伝ポスター、2枚一組で……100人



Ⓛ

Ⓚ「サインが何度も変わってゴメンナサイ」という陽子の一番新しいサイン……100人


Ⓚ



恋写館

Yoko Minamino

真っ赤なマカデミア色したフタを開けると、小さいつぶつぶチョコレートが微笑みかけてくれたの。思わず頬ばって、あなたのこと考えました。「情熱チョコレートはあなたの優しさといっしょにかみしめています」

SIDE. 5

●陽子発　あなた様へ





陽子発

ぼんやりとしながら思うのは、あなたのことばかりです。たおにほうの郵便ポストに通ったのも、今度で7回目っていうことを、ご存じでしたか？　宛名ナシの行き場のない手紙は、何処へストックされているのでしょうか。もし――もしも、あなたの心の中ならば、私もいっしょに手紙になってしまいたいくらいですよ。

あなた様へ







陽子は、今日、作詞家になりました。
ウインザーのカーテンを揺らせる風を作曲家にして、
歌のテーマはいとしさを綴るあなたです。陽子の歌のエッセンスを
愛しおりまぜて、最初の言葉は、こんなです。
あなた、ごめんなさい。まだ、怒ってますか？……





桜草のときめきを、昨日耳にしました。そして今日は、ウキウキ顔のアオムシさんに出会いました。きっと明日は、愛しい蛹さんの「巡り逢う」日にしていますよ。春の風もこんなに柔らかく陽子を迎えてくれそうなのに、誰かさんだけですよ。また私の気持ちに気づいてくれないなんて―ドンカンですね。

ぼくは陽子に食べられたい。



陽子に初めて会ったのは、クラブが終わってからの学校帰りだったんだ。いつも行く書店をなにげなく覗いてたあの時、ぼくの目はくぎづけになってしまった。もちろん君にだよ。陽子

制服を着たままのキミの姿は今にも、本の中から抜けだしてきそうだった

陽子の笑い顔、とてもステキだね。ページをめくるたびに、ぼくはトリコになりそうで、また、陽子、キミに逢いたくなってしまう

青りんごをいっしょに食べようよ。



ぼくはぶどうの雫になりたい。



すっぱいライムはいやですか。



君の好きなもの何でもいいから教えてほしいな。できることならすべてをかなえてあげたいから、君の笑顔が見たいからなんだよ

陽子の神話はぼくだけで作り出したい。できることなら何から何までも……。でも無理な話だよね

だったらせめて、ぼくが送ったライムぐらいは食べておくれ。ね、陽子


SIDE. 6
Yoko Journey





●初もうで、[illegible]

[illegible]ヨ。ミナミノ、エライでしょー、なんてネ。

[illegible]12月31日まで、ホント、めいっぱい石垣島で写真集の撮影をしていたんデス。いやあ働いた、働いた、だけどとっても楽しかった。

そして1日から4日間、[illegible]で、実家の伊丹へ帰っていたんです。ホントはね、せっかくのお休みなんだから、のんびり家の中でからだを休めていようかなーって考えていたんです。

[illegible]た。神戸にいる友達とポートアイランドの遊園地に行ったり……。あとは何回も何回も、生田神社にお参りしたの。ほとんど毎日のように行ってましたねー。多いときで友達15人とドドドーッと出かけたんです。

[illegible]と。でも、いちばんの願い事は[illegible]





●陽子にソックリ、一つ下の弟のこと

芸能界入りするとき、両親はもちろんですが、誰よりもいちばん反対したのは一歳下の弟だったんです。「もし売れへんで帰ってきたら、ハジカキやんか」って。わたしのコト、すごく心配してくれたんです。

今ではもう反対はしませんけれど、大っぴらに応援というわけでもないみたい。なんか恥ずかしいみたいですネ。

●弟もマイペースだといわれるんですけど、恥ずかしがりやで頑張っちゃうところもあるし、[illegible]にソックリ。











●ファンレター

わたしの心の中に〝陽子は芸能人だ〟という実感がないから、ファンレターをいただいてもなんだかとっても不思議なんです。

シャレで手紙を送っているんじゃないかなあとか、わたしではない同姓同名の南野陽子という女のコに送ったつもりが、間違ってわたしのところへ届いちゃったんじゃないかって思ってしまうんです。もちろん、ファンレターをいただけるなんて、すごーくうれしいですヨ。

ファンレターの内容でいちばんうれしいのは、具体的に「この間、○○番組に出演していたときの陽子はこんな感じに写ってた」と、細かく書いてあるもの。指摘されるとためになるし、ホントありがたいなって思いマス。

また、なかには毎日、日記みたいに書いて送ってくれる人、毎週キチンと書いてくれる人もいるんです。こういう常連さんはもうしっかり陽子の頭の中にインプットされているんですヨ。



●プロポーズ、アラカルト

23歳結婚説がいろいろな雑誌で書かれてからは、ファンの人から多くのプロポーズの言葉をいただきました。「陽子、5年後には迎えに行くぜ」とか、年下の人の場合は「5年後までにはきっと一人前の男になります」とか。なかには「僕じゃ、無理だろーな」なんてイジケちゃう人も。

でもチョット待って。プロポーズだけされても相手を知らなければどうしようもないですよね。まるっきり知らない人から告白されてもヘンですから。まずは結婚の前に素敵な恋人を見つけることが先決ですよね。

ダイダイテキに〝結婚宣言〟をしたはいいけど、いざ23歳になったときに相手がいなかったら……ねえ。だからこの話はもう、しばらくはいいいません。







●アガリや陽子の歌番組初登場ものがたり

初めてベストテン、トップテンといった歌謡番組に出演させていただいたときの感想は、〝もう、サイテ〜!!〟

なんとか歌詞を間違えずに歌えたんですけれど、点数でいえば30点デス。アガっちゃって、アガっちゃって、何を話したのか実は覚えていないんです。

なんといっても陽子のデビュー・シングルは「恥ずかしすぎて」ですからね、あのときは〝恥ずかしすぎて〟プラス〝アガりすぎて〟といったぐあいでした。なにしろベストテン番組に出たのは生まれて初めてのことだったから、勝手が全然わからなかったんです。やっぱり、ドラマとは違って、ナマ番組ですからコワイですヨ。しゃべり過ぎないようにしなくちゃとか、ふだんのままでいいのかなあとか、不安、不安で胸はドッキドキ。その結果、本番で黒柳徹子さんや榊原郁恵さんから何を質問されているのかわからなくなってしまって、ただポーッと抜けた感じになっちゃったんです。

誰か、陽子のアガリ性を治してくださ〜い!!

◎「スケバン刑事II」[illegible]ドキドキ、ヒヤヒヤ[illegible]
[illegible]その中でいちば[illegible]ナイフで刺[illegible]
アク[illegible]シーン[illegible]し、相
手の人が本物のナイフ[illegible]の
ときは紙で[illegible]ニセナイフ[illegible]んで[illegible]では
本物のナイフを使うことになったんです。だから[illegible]がガ
クガクしちゃって[illegible]。その上、相手役の人はスタン[illegible]な
[illegible]ったので、本物[illegible]ても手[illegible]かけ
て思い切りつきつけてくるんです。さすがの陽[illegible]かり
はコワクてコワクて[illegible]し



●23歳結婚説の真相

わたしはお母さんが24歳のときの子どもで、2人ともヒツジ年なんです。だからわたしも24歳で子どもを産みたいなって思ったんです。もちろん、子どもを産む前には結婚してなければならないですよネ。でも陽子はギリギリまで独身でいたい、そこで23歳結婚説ができたわけデス。小学校6年生のころにはすでにそう考えていたんですから、そうとうマセた子どもだったんですネ。

それで23歳の冬ぐらいには結婚することになるから、その半年前の6月23日の誕生日にプロポーズされるとちょうどイイ、と話はドンドン進んでいって、結局73歳で死ぬという人生計画まででき上がってしまったんです。

70歳のときにダンナ様に死んでもらうという理由は、三回忌ぐらいまでやってあげたいから。で、わたしがその3年後にというのは、73歳まで生きれば、うまくいけばヒ孫の顔が見れるんですよ。でも、だからといって、いつまでも生きていても……ね。次の世代に渡していかなければならないし。だから73歳。

だけど、この人生計画、いったいどこまで忠実に進められるかしら?









●夜の[illegible]

あまり出歩くということはしませんけど、唯一、陽子が真夜中に平気で[illegible]て、いったいどこ[illegible]？

ジャーン。お答えします。それは[illegible]のスーパーマーケット。大[illegible]ほら、スーパーって、シャ[illegible]やら雑誌やらって、あらゆるものが置いてあるでしょ。そういうモノをメーカー別で見比べていると全然あきないんですよ。気がついたら、お店の中に2時間いた、なんてこともチョクチョクあります。

ただ、ちょっと困ることがあるんです。それは最近、よくお店の中で声をかけられるコト。ラーメンの袋やおにぎりとかをかかえているから恥ずかしくて、「サインしてください」といわれても「エッ!? 人違いです」とかいってその場から逃げ出したくなっちゃうんです。





●デビュー前と今のワタシ

ハッキリいって全然変わりま
確かにふとテレビをつけて自
ッと出てくると、恥ずかしい反
ビに出るくらいになったという
す。でも、ドラマで主役を演って
CMで笑っているわたし、雑
ーなんか信じられない。この
て感じ、別人を見ている感じが
そういう点では、まだミナ
り切ってないんですよねー。フ
が、ある日読者モデルとして雑
う感覚。何月何日の何時、ど
なんていわれてワクワクしな
つのだけれど、いざ雑誌に載って
姿を見ると恥ずかしくてたまらな
その感覚がいまだにあるんです
いつまでも読者モデルじゃイ
思います。プロなんだから、お
ら……
でも、だからこそ、逆にその
大切にしていきたいとも思うんです
それが陽子らしさだと思うから——

わたしの初めてのデラマガの個人集、楽しんでいただけましたか。
これからも友達のような気持ちで応援してくださいね、あなたへ。



Photo by Seiichi Nomura

●本名 同じ ●昭和42年6月23日生まれ
●身長160、体重47、B80・W58・H85 ●B型

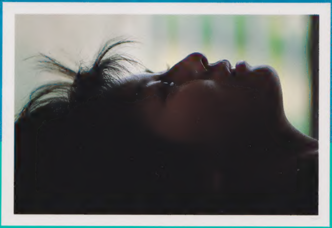
協力／ラ・ソワレ
Design by PENCIL STUDIO



PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE
Yoko Minamino
Photo by SEIICHI NOMURA


PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE
Yoko Minamino
Photo by SEIICHI NOMURA

PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE
Yoko Minamino



窓ガラスを伝わってあなたの心が流れていきそうで……
雨の日は、ユウウツ詩人の陽子です。



小さな愛から旅立ったワタシは、
大きなあなたの胸に飛び込んでいきます。
アイシテルといってください。

Design by PENCIL STUDIO

フォトマガYOKO
プレゼント
応募券



PHOTOGRAPHIC·MAGAZINE

Photo by SEIICHI NOMURA

Yoko Minamino

講談社
定価1300円
雑誌 60651—26 ISBN4-06-101625-3
C0072 ¥1300E(0)

Skinship Magazine for Boys

DELUXEマガジン ORE オーレ